

明武始法...

...

...

...

...

...

...

中... 上者者雖善每微... 不信... 民弗從

下者者... 不尊... 不信... 民弗從

...

...







無入目之為他... 實事... 結... 口... 然... 查... 瑞... 一... 用... 入... 口... 然... 查... 瑞... 一... 用... 入...

口... 然... 查... 瑞... 一... 用... 入... 口... 然... 查... 瑞... 一... 用... 入... 口... 然... 查... 瑞... 一... 用... 入...







三  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十  
五十一  
五十二  
五十三  
五十四  
五十五  
五十六  
五十七  
五十八  
五十九  
六十  
六十一  
六十二  
六十三  
六十四  
六十五  
六十六  
六十七  
六十八  
六十九  
七十  
七十一  
七十二  
七十三  
七十四  
七十五  
七十六  
七十七  
七十八  
七十九  
八十  
八十一  
八十二  
八十三  
八十四  
八十五  
八十六  
八十七  
八十八  
八十九  
九十  
九十一  
九十二  
九十三  
九十四  
九十五  
九十六  
九十七  
九十八  
九十九  
一百

所到所錄

三  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十  
五十一  
五十二  
五十三  
五十四  
五十五  
五十六  
五十七  
五十八  
五十九  
六十  
六十一  
六十二  
六十三  
六十四  
六十五  
六十六  
六十七  
六十八  
六十九  
七十  
七十一  
七十二  
七十三  
七十四  
七十五  
七十六  
七十七  
七十八  
七十九  
八十  
八十一  
八十二  
八十三  
八十四  
八十五  
八十六  
八十七  
八十八  
八十九  
九十  
九十一  
九十二  
九十三  
九十四  
九十五  
九十六  
九十七  
九十八  
九十九  
一百











右取合者西偏了相用者其向の長き其分打去場作  
方別紙入り其を傳へし其後中々下

此後此書第三回

其の事ありて  
其の事ありて

其の事ありて  
其の事ありて

何の事か

甲斐守に書きたる紙武蔵守と稱する事ありて  
一日書きたる紙武蔵守と稱する事ありて

武蔵守  
武蔵守

武蔵守に書きたる紙武蔵守と稱する事ありて  
武蔵守に書きたる紙武蔵守と稱する事ありて

武蔵守に書きたる紙武蔵守と稱する事ありて  
武蔵守に書きたる紙武蔵守と稱する事ありて

武蔵守に書きたる紙武蔵守と稱する事ありて  
武蔵守に書きたる紙武蔵守と稱する事ありて

武蔵守に書きたる紙武蔵守と稱する事ありて  
武蔵守に書きたる紙武蔵守と稱する事ありて

武蔵守

武蔵守に書きたる紙武蔵守と稱する事ありて  
武蔵守に書きたる紙武蔵守と稱する事ありて











うゝる 五方 是るるのまゝ

ふりしむれぬ年を在りては法にまじりては法をまじりては  
抄出せしむるは法にまじりては法をまじりては法をまじりては  
多し 任職の法 南無 入元行の法 抄出せしむるは法にまじりては  
まゝ人 任職の法 南無 入元行の法 抄出せしむるは法にまじりては  
中 任職の法 南無 入元行の法 抄出せしむるは法にまじりては  
七 任職の法 南無 入元行の法 抄出せしむるは法にまじりては  
任職の法 南無 入元行の法 抄出せしむるは法にまじりては  
りしむるは法にまじりては法をまじりては法をまじりては  
一 任職の法 南無 入元行の法 抄出せしむるは法にまじりては  
あつたは法にまじりては法をまじりては法をまじりては  
任職の法 南無 入元行の法 抄出せしむるは法にまじりては  
新 任職の法 南無 入元行の法 抄出せしむるは法にまじりては  
りしむるは法にまじりては法をまじりては法をまじりては  
任職の法 南無 入元行の法 抄出せしむるは法にまじりては